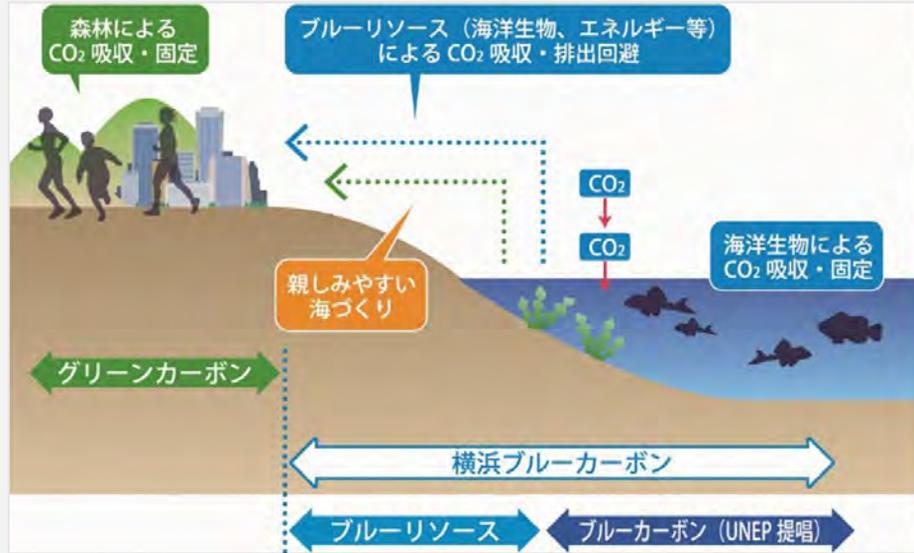


# 横浜ブルーカーボン・オフセット制度



### CO<sub>2</sub>削減プロジェクト

- ブルーカーボン**  
海洋生態系によるCO<sub>2</sub>の吸収・固定
- ブルーリソース**  
臨海部におけるエネルギー等の利活用

### 環境教育・啓発

- 親しみやすい海づくり**  
市民協働による海づくりや環境教育・啓発

## 取組の位置

## 地域課題・目的

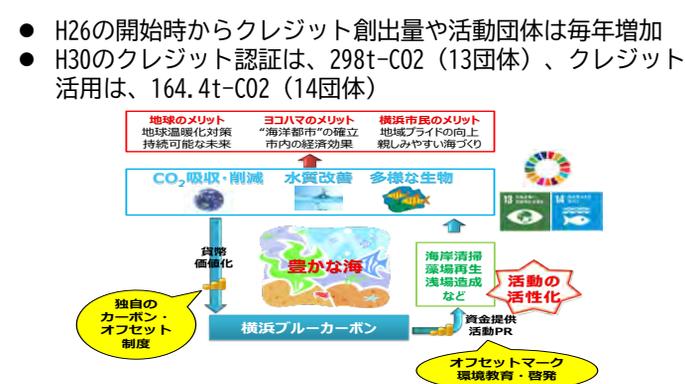


- 【地域課題】**
- 市民・NPO・企業・自治体が行っている海岸清掃、藻場再生、浅場造成等の沿岸環境の維持・改善の取り組みの活性化
  - 臨海部におけるCO<sub>2</sub>固定・削減につながる活動の推進
- 【目的】**
- 海洋生物によるCO<sub>2</sub>の吸収・固定（＝ブルーカーボン）、臨海部におけるCO<sub>2</sub>削減（＝ブルーリソース）による温暖化対策を軸とした多様な相乗効果※の創出
- ※ 環境面：温暖化対策や水質浄化，生物多様性保全，社会面：アメニティの充実や横浜ブランドの向上，経済面：資源や食料の供給量増加，観光客の増加等

## 取組内容

## 取組効果

- 横浜ブルーカーボン・オフセットクレジットの創出（H26～）
  - (1) ブルーカーボン  
アマモ場・海藻養殖場において、生長過程で光合成等により大気から炭素を“吸収”し、枯死・流出した個体の堆積等により“固定”された炭素量を算定し、クレジットを発行
  - (2) ブルーリソース  
臨海部における再生可能エネルギーの利活用等（海水ヒートポンプ導入、LNG燃料タグボート等への代替、わかめの地産地消）により、削減されたCO<sub>2</sub>を算定し、クレジットを発行
- 横浜ブルーカーボン・オフセットクレジットの活用（H26～）  
海域でのイベント（世界トライアスロン大会等）や企業活動（建設、エネルギー、製造業、サービス業等）で排出されたCO<sub>2</sub>を、ブルーカーボン・オフセットクレジットの購入により相殺
- 自治体連携の取組（R1～）  
他自治体からの申請を認証できるように制度の見直しを行い、令和元年度より他自治体のクレジット認証を開始



アマモ場



世界トライアスロン横浜大会 © Shugo Takemi



問い合わせ先

団体名：八千代エンジニアリング株式会社  
 連絡先：八千代エンジニアリング株式会社  
 TEL：03-5822-2491 E-Mail：yoshihara@yachiyo-eng.co.jp